学校番号	107

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	最新国語便覧　（浜島書店）　重要古文単語３１５四訂版（桐原書店） 十訂版　読解をたいせつにする 体系古典文法（数研出版） 四訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法学習ノート（数研出版） 言語文化の基礎学習〈新課程対応 新装版〉（尚文出版） 新明説漢文（尚文出版）新明説漢文ノート（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語科では、社会に出てからも通用する「伝え合う力」の育成を目指しています。古典を学ぶことは、蓄積された先人たちの経験や知識を理解し、さらに新たな創造や工夫を加えて、人生をより豊かに送ることにつながります。言語文化では、古文と漢文を中心に近現代の小説なども広く学習します。実り多い学習となるよう、「授業」を大切にし、「予習」・「復習」はバランス良く主体的に取り組みましょう。「予習」では、辞書を活用して新出語句の意味調べや本文の音読、「復習」では学んだことを整理し、重要事項についてさらに調べて、どんどんノートに付け加えましょう。そのために、ノートはできるだけ行間にゆとりを持ち、授業中は級友の意見や授業者の口頭による説明も必要に応じてメモをとり、積極的に参加してください。また、定期考査は計画を立てて臨み、提出物の期限は厳守しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	説話 ［教材］宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「柿の木に仏現ずること」 〔文法〕古文の基礎	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話の内容と現代社会問題との共通項を探り、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	第一中間考査 小テスト	第一中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	随筆（一） ［教材］徒然草 「つれづれなるままに」 「奥山に猫またといふものありて」 〔文法〕動詞・形容詞・形容動詞	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。	第一中間考査 小テスト	第一中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	歌物語 ［教材］伊勢物語 「東下り」 「筒井筒」 古文の物語をリライトする 〔文法〕助動詞　助詞	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。 積極的に古文を自分に引きつけて想像を働かせ、学習課題に沿って現代語の物語に書き換えようとしている。	第二中間考査 小テスト	第二中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	現代小説 ［教材］「初恋の」 川上未映子	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	第二中間考査 小テスト	第二中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	漢文入門 ［教材］入門一、入門二 故事「漁夫之利」	a：　我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我	前期末考査 小テスト	前期末考査 ワークシート	振り返りシート ノート

	「狐借虎威」 〔文法〕訓読基礎　再読文字 助詞　置き字	が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：訓読文体がもつ語感について進んで考察し、積極的に話し合いに参加しようとしている。 学習課題に沿って、寓話の意味する内容について粘り強く考えている。			
	物語 ［教材］竹取物語 「なよ竹のかぐや姫」 「天人の迎へ」 〔文法〕助動詞　敬語	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：『竹取物語』の教科書掲出箇所以外についても積極的に調べ、学習課題に沿って発表に取り組もうとしている。	前期末考査 小テスト	前期末考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	随筆（二） ［教材］枕草子 「春はあけぼの」 「雪のいと高う降りたるを」 「中納言参り給ひて」 〔文法〕助動詞　敬語	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って作者の機知や心情を理解しようとしている。	前期末考査 小テスト	前期末考査 ワークシート	振り返りシート ノート
後期	和歌 ［教材］万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 〔文法〕和歌の修辞	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。	後期中間考査 小テスト	後期中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	詩歌 ［教材］短歌	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：学習課題に沿って、粘り強く短歌の作成に取り組もうとしている。	後期中間考査 小テスト	後期中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	日記文学 ［教材］土佐日記 「門出」「帰京」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	後期中間考査 小テスト	後期中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート

	漢文－思想 ［教材］論語 〔文法〕否定　疑問　反語　詠嘆	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：学習課題に沿って、孔子の生き方について粘り強くまとめ、年齢の異称について積極的に調べている。	学年末考査 小テスト	学年末考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	近代小説 ［教材］「城の崎にて」 志賀直哉	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	学年末考査 小テスト	学年末考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	軍記物語 ［教材］平家物語 「祇園精舎」 「木曽の最期」 〔文法〕用言・助動詞の音便	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。 「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	学年末考査 小テスト	学年末考査 ワークシート	振り返りシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間